



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「例会は出席第一」

国際会長主題 「より良い明日のために今日を築く」 Jennifer Jones (オーストラリア)

アジア太平洋地域会長主題 「アクション！」

田中 博之 (東京多摩みなみ)

西日本区理事主題 「風となれ、ひかりとなれ」

戸所 岩雄 (彦根シャトー)

中部部長主題 「輪を拡げ 明るく楽しく 元気よく YMCAとともに」

小林 滋記 (名古屋南山)

名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』

——— 今月の聖句 ———

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

(マタイによる福音書 7章 7節～8節)

強調月間 JWF

3月例会等ご案内

◎3月第1例会

日程：3月12日(木) 18:45～

会場：ラスースANN 2F

担当：山田英次君

開会宣言・点鐘：山村喜久会長

ワイズソング

5つの信条：太田全哉君

食前感謝：木村真知子君

一食 一食

卓話：『私の履歴書』

過去・現在・そして未来

講師：原田和哉氏

経営コンサルタント

諸連絡

閉会宣言・点鐘：山村喜久会長

◎3月第2例会

日程：3月19日(木) 19:00～20:30

会場：名古屋YMCA

◎東日本大震災犠牲者追悼式

日時：3月11日(水) 13:30～19:00

場所：矢場公園

◎チャリティーウォーク

名古屋城下の碁盤割の町を歩きます

日時：3月28日(土) 9:30～12:00

集合・解散場所：名古屋中央教会前

参加費：1,000円

◎4月第1例会

日時：4月9日(木) 18:45～

場所：ラ・スース ANN

東海ワイズ五つの信条

- 一. 自分を愛するように隣人を愛そう
- 二. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 三. 世界的視野を持って国際親善を果たそう
- 四. 義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五. 会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 2月末一在籍者 23名
(内功労会員1名・広義会員2名)
出席者 18名(内メイクアップ1名)
出席率 90% (2月20日現在)

【特別ファンド】
2月ファンド 41,200円 合計 1,175,908円

「TOFの月・オークション」

担当：遠藤彰一君

2月第1例会 2月13日（木）18：45～20：00



2月はTOF（Time of Fast＝断食のとき）の月。例会の食事を抜いて、その分を国際協会へ献金し世界の飢餓に苦しむ人々へのプロジェクト・奉仕活動主に途上国で民生向上のために苦闘しているYMCAの活動に用いられます。

食事が無いので今月の会場はYMCA本館の5階のチャペル、プログラムは恒例のオークションで、担当も恒例の遠藤君。

最初に遠藤恵美子スタッフからピンクシャツデー



のアピールがあり、チラシを手に記念撮影。

リーダー4人も同席し、3月に行われるフィリピンワークキャンプに参加する決意とともに、協力の依頼があり本日のニコボックスはフィリピンワークキャンプに捧げました。



オークションはメンバーの高齢化に伴い、お歳暮なども減り、提供品を出すのにそれぞれ苦労し、提供品の数も34品に留まったがそこは手慣れた遠藤君、品物の中身を見てそれに合ったメンバーに売りつけ平均1,200円で総額41,200円のファンドとなった。

提供品ではいつも多い酒類が今回は日本酒1本、焼酎1本、ワイン1本でした。これも高齢化？

矢場とんんの肉まんは希望者が多くじゃんけんで。

お買い上げベスト3は

- ①鈴木孝幸君
- ②山村喜久君
- ③浅野麻琴君・山田英次君・鷲尾文夫君

でした。ご協力感謝いたします。



* * * *

太田次期会長から次期のクラブ役員が発表され、第2例会までどうしても他の役を希望する人は太田次期会長と調整することとした。

* * * *

全国YMCAピンクシャツデー：2月26日（水）YMCAは「世界的いじめ反対運動」に取り組んでいます。ピンクシャツデーとは社会全体がいじめに対して「自分の事として」向き合い「傍観者にならないこと」、公平で平和な世界の実現をめざす運動。ピンクのシャツはいじめ反対運動のシンボルです。

名古屋YMCAでは2/20～26の一週間をピンクシャツウィークとして取り組み、多くの人がいじめのない世界を目指しました。

東海クラブは第1例会で浅野猛雄君がピンクのシャツで出席しピンクシャツデーのアピールをしました。

第64回名古屋 YMCA & 第50回ロータリ

一杯争奪市内中学生バスケットボール大会

表記の大会の準備が早くも始まり、実行委員長の長谷川和宏君は第1例会の出席を見送り準備委員会を行いました。今年の大会は会場の都合で7月29日(水)に開会式を行い、8月10日(月)までの間の10日間の予定で開催されます。

会場の確保も他の競技や県大会、東海大会との兼ね合いでなかなか難しい状況があります。また、教員の部活動への勤務の厳しさもありこうした大会の開催も曲がり角にきているのかと感じています。

民間が主催するような大会は非常に珍しくYMCAがバスケットボールの大会を主催することは大きな意味と意義があります。

夏の暑い時期ですがオリンピックの前に中学生が繰り広げる熱戦を是非とも観戦して頂けるとありがたいと思います。

詳しい日程などは6月にお知らせする予定です。



リーダー感謝会のお知らせ

YMCAの諸活動に奉仕してくれた学生リーダーが学生生活を終え、社会人として旅立ちます。今までの奉仕に感謝の気持ちを表し、今後もYMCAの活動に連なってくれることを願って、感謝の会が開催されます。ワイズの皆さんも社会人の先輩として、また、将来ワイズメンズクラブの仲間に加わってくださることを期待してぜひこの会にご参加下さい。

日時：2020年3月22日(日) 16:00~19:00

会場：南山ファミリーYMCA

会費：3,000円(懇親会に参加の場合)

第9回チャリティーウォーク

《歩いてみよう！城下の碁盤割の街》

～大震災・大規模災害復興支援プログラム～

東日本大震災のあと当時グランパスクラブの奈良ワイズが提唱し、全国のYMCAで行われた「揚がれ希望の凧！」の運動を引き継ぎ名古屋地区のワイズメンズクラブが主催するチャリティーウォークも9回となります。

今年は名古屋の城下町、名古屋の街は城の周りに武家地、寺などが計画的に配置され、町人地は名古屋の中心地に「碁盤割の町」として配置された特徴ある街です。

3月28日(土) 9:30~12:00 約6km 2時間半
集合・解散は栄の名古屋中央教会前(地下鉄栄駅5番出口)で、途中参加、途中リタイアもOKです。当日集合地で受付、参加費(全国YMCAが行う災害支援プログラムに寄付)は1,000円です。

(昨年のチャリティーウォーク)



今年のウォーキングチェックポイント

御園橋=旧瀬戸電堀川駅=明倫堂跡=河文=

桜天神=高札場跡=聞安寺=朝日神社

このほか途中には

いとう呉服店跡、東照宮、那古野神社、医学館跡

伊藤圭介記念碑、横井也有記念碑、伊勢久、藩医

学校跡、旧名古屋銀行本店跡、瑠璃光寺跡

などなど

名古屋の繁華街の中にも見所はいっぱい。

ぜひ、春の一日、桜も見頃、ゆったりと歩きませんか。参加をお待ちしています。

担当：大島孝三郎・長谷川和宏

3月の西日本区JWF強調月間

「JWFは皆さまの厚意によって支えられています。個人やクラブの記念に合わせて献金をお願いします。」

西野陽一 西日本区JWF管理委員長

2月第2例会報告 20日(木) 19:00~20:00

名古屋YMCAにて 出席 11名

- ① 2月第1例会：2月13日(木) 18:45~
T. O. F例会 担当：遠藤彰一ワイズ
「オークションとピンクシャツデーアピール」
- ② 次期クラブ役員
次期会長：太田全哉ワイズより発表。
- ③ 今後の予定
- ・YMCA中学生バスケットボール大会役員会
2月28日(金)日程会場確定
 - ・ブルーグラスミュージックライブ2月29日(土)
名古屋東海ワイズメンズクラブとして協力
 - ・3月第1例会(山田英次ワイズ)3月12日(木)
卓話講師：原田 和哉氏(経営コンサルタント)テーマ「私の履歴書」
 - ・次期会長・主査研修会 3月7日・8日
新型コロナウイルス予防のため中止
 - ・3・11東日本大震災被災者追悼式3月11日(水)
14:00~栄・矢場公園
 - ・名古屋地区クラブ連絡会3月18日(水) 19:00
 - ・3月第2例会3月19日(木)名古屋YMCA
 - ・卒業リーダー感謝・激励会3月22日(日)
南山YMCA 出欠確認を取ります
 - ・春のチャリティーウォーク3月28日(土)
9:30~12:00 名古屋城下碁盤割の町を歩く!
 - ・西日本区大会出席の薦め、今年は1日プログラム
 - ・年賀はがき記念切手の当選番号16、37、67
 - ・提供いただいた切手類の換金化を3月第2例会で
- ④ 例会・行事の出席率
2月出席率 18名/20名 90.0%

◆2019~2020年度クラブ役員

会長：山村喜久 書記：太田全哉 一般会計：浅野猛雄 直前会長：池野輝昭 連絡主事：浅野麻琴

◆西日本区JWF管理委員：橋爪良和

中部EMC事業主査：鷲尾文夫

◆広義・功労会員：浅井秀明、鈴木一弘、野村秋博

名古屋東海リレー投稿 — 8 —

「ワイズ起こし運動に対する私の考え」

松本 勝ワイズ

1月号ブリテンに柴田洋治郎ワイズが「ワイズ起こし運動に対する私の考え」として①会員増強、②YMCAとの協働、③組織風土の改革の3項目にわけて考えを述べておられた。私も大いに賛同するもので、特に「組織風土の改革」について述べられた『ワイズ活動の原点は各クラブ及びその会員であり、上部組織としての西日本区や中部ではありません。』

(中略)昨年度、中部で2クラブが消滅しました。その理由は会員の減少と西日本区の縛りや過去の慣例に嫌気をさしたものでした。』いうところにはハットさせられもし、同感の思いも強くした。中部部長を経験された中での実感ではないかと拝察した。

ちなみにお金の面で見ると、私たちのクラブの年間予算では、会費収入は約180万円、そのうち例会食事代が50万円、残り130万円が活動費となるが、その130万円のうち西日本区に区費や負担金として拠出する金額が54万円あり活動費の41.5%を占めている。これが適正な値であるかは私にはわからない。「まあ、ワイズとはそういうものだ」と言ってしまうばそれまでだが、我々は国際協会や西日本区の事業を推進するためにこれだけの負担を自動的にしているのである。また、人的な面では区や部の役員輩出に中部では同じ人物が何年かおきに役名を変え登場するなど苦労している現実もある。

ワイズの歴史は、成長を前提として成立してきたように思う。しかし成熟後のあゆみは明確ではない。(成熟しきったら枯れるという自然の法則に従うという前提があるのかもしれないが)

社会は急速に変化している。成長に支えられ固定電話しか無かった時代の思考や運営方法がスマホの時代に対応できず制度疲労を起こしていると私は思う。大規模な会合、多重な運営組織体制、いくつもの会合、使途の成果が見えにくい多くのファンド事業なども時代変化に見合ったコンパクト・シンプルな姿に衣替えする必要があるのではないか。国際的な組織であるがゆえに困難な課題かもしれないが、日本の区として放置しておいて良い問題ではないと私は思う。